

高松港・坂出港長期構想（案）について

提出されたご意見とそれに対する事務局（香川県・坂出市）の考え方

【問い合わせ先】

香川県土木部港湾課 計画・開発グループ
〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号
電話:087-832-3550/FAX:087-806-0221
E-mail:kowan@pref.kagawa.lg.jp

坂出市建設経済部みなと課
〒762-8601 坂出市室町二丁目3番5号
電話:0877-44-5010/FAX:0877-44-0086
E-mail:minato@city.sakaide.lg.jp

令和4年1月25日から令和4年2月24日までの1カ月間、高松港・坂出港長期構想（案）について実施したパブリック・コメント（意見公募）では、9名の方から30件のご意見が寄せられました。ご意見をいただきありがとうございました。

これらのご意見について、適宜要約・集約して整理し、それらに対する事務局（香川県・坂出市）の考え方とあわせて以下に示します。

なお、賛否の結論だけを示したご意見や案と直接関係のないと考えられるご意見については、公表していません。

〈ご意見の提出者数〉

個人	9件
企業	1件
団体	1件
合計	9件

〈提出されたご意見の数〉

高松港に関する事	5件
坂出港に関する事	11件
両港・県全体に関する事	8件
その他	6件
合計	30件

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
高松港に関すること	
<p>高松港の近年の整備により、海外へのつながりも感じさせる素敵なものに変化を続けてきたと思っている。</p> <p>高松港に寄港する客船を、サンポートのレストラン前から数回見たこともあるが、ダイヤモンドプリンセスは東の港に接岸したため、近くで見ることができなかった。長期構想（案）の資料で、サンポートの方では大きい客船が対象外ということを知った。是非、サンポート側の港に大型客船が寄港でき、立派な場所を旅行者が利用できるようにしてほしい。香川の顔づくりとして、いち早く取り掛かるべきプロジェクトだと思う。</p> <p>コロナがいつ収まるか分からないが、いつかは収まる。そうすると、大型客船も再び動き出す。沢山の県外や外国の方が香川高松に大型客船で来て、県内観光を楽しめる時が早く来て欲しいと思っている。</p>	<p>高松港玉藻地区の客船専用岸壁では、5万トン級までのクルーズ客船を受入れており、「街から近く、景観が素晴らしい」と好評を得ています。同地区で11万トン級までのクルーズ客船に対応できるよう、玉藻地区におけるクルーズ客船受入れ機能の強化に努めてまいります。</p>
<p>高松駅周辺からの遊歩道（コリドー等）を整備することで人の流れが県民ホールの方面までできる。</p> <p>アート展示やマルシェの開催、天井のない「そらバス」の停留所など、多用途に利用できる広場を整備してほしい。</p>	<p>高松駅から県民ホールの間については、連続したプロムナードの形成や多用途に利用可能な広場を確保できるよう努めてまいります。</p>
<p>新県立体育館が、2024年度完成を目指して建設が予定されており、そのため周辺の道路の渋滞などが懸念されている。</p> <p>渋滞を抑制のため道路拡幅のほか、自動車を高松港付近に入れさせない様にする必要があると思う。</p> <p>玉藻地区東側には多くのコインパーキングや香川県玉藻町駐車場がある。それらのエリアと JR 高松駅をつなぐ連絡通路の延長を出来る限り早く実現してほしい。</p> <p>また、新県立体育館建設に伴い、屋外広場が無くなる。上記の連絡通路の横に、人々が集い楽しめる屋外空間を再構築してほしい。</p>	<p>JR 高松駅から玉藻町駐車場の間については、連続したプロムナードの形成や多用途に利用可能な広場を確保できるよう努めてまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>平成 16 年の高潮で浸水被害を経験した。そうした経験から、海の恐ろしさを認識しており、南海トラフ地震の津波や、先日の海底火山噴火による高潮などで心配を募らせている。</p> <p>現在進めている地震・津波対策を早急に完了させて欲しい。</p> <p>特にサンポート周辺は、急ぎ整備を優先してほしい。</p> <p>（同様ご意見他 1 件）</p>	<p>関係市町と連携し、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」を計画的に推進してまいります。</p> <p>その中で、サンポート高松周辺に関しては、玉藻公園北側を整備計画 I 期（前期）として、令和元年度までに整備が完了しており、残る中央ふ頭周辺を I 期（後期）として、令和 6 年度までに整備を行う予定です。</p>
坂出港に関すること	
<p>坂出港林田総社地区への新岸壁設置工事を優先しつつ、中央ふ頭地区の老朽化対策を行ってほしい。</p>	<p>背後企業と一体となった物流機能の強化・効率化を目指し、背後企業の事業計画に合わせた、ふ頭の再編及び港湾施設の計画的な点検補修に努めてまいります。</p>
<p>かつての坂出港の活気や賑わいを取り戻す努力として、既存企業の流出に注視しながら、新規参入しそうな企業（製造型工場業）へポートセールスを実施してほしい。</p>	<p>関係部署と連携して企業誘致に努めてまいります。</p>
<p>坂出市において、工場閉鎖や移転が続いている。移転は、それぞれの企業が利便性を求めた結果であり、現在の坂出港の立地条件や設備等が利用者のニーズに合っていないのも要因の一つである。坂出港の各地区における役割分担を明確にし、既存の工場が坂出市から移転しないように施策を講じてほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、坂出市内の工場閉鎖や移転が続いています。この問題は港湾管理者だけで対応できるものでないので、関係部署と連携し、既存の工場が継続して坂出港で事業を営んでいただけるよう努めてまいります。</p>
<p>坂出港総社地区において、大型船対応の岸壁整備が計画されているが、背後地の整備はもちろん、企業誘致も重要な課題であり、香川県・坂出市が連携し積極的に行っていただきたい。貨物量の確保が、安定した市政・県政運営につながることから、20 年、30 年先を見据えた港湾整備でなく、取り組めることは早急に進めていただきたい。</p>	<p>関係部署と連携して企業誘致に努めてまいります。</p> <p>港湾整備については、取り組めることから順次進めてまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>【1. 高松港・坂出港の現況 P37～38】</p> <p>坂出港の歴史から現在における状況を表にまとめてわかりやすい。</p> <p>個別企業の閉鎖が記載されているが、どのような基準で記載しているのか。基準が曖昧なのであれば、西日本くみあい飼料(株)坂出工場も載せるべきである。</p>	<p>P38 に企業名を追記します。</p>
<p>【1. 高松港・坂出港の現況 P43】</p> <p>日清製粉(株)坂出工場のことが記載されているが、企業名を伏せていることに理由があるのか。「今後、大型穀物船が坂出港に寄港する回数が減少するものと想定されます。」とあるが、表現が抽象的だと思う。</p> <p>大手製粉会社の坂出工場の閉鎖後は、確実に大型穀物船が入らなくなるので、想定される具体的なスケジュールなどを記載すべき。</p>	<p>P43 に企業名を記載します。</p> <p>大型穀物船の動向については、現段階では抽象的な表現しかできないものと考えます。</p>
<p>【7. 坂出港長期構想 P131】</p> <p>内的要因-プラス要因において「～麦輸入の全てを取り扱う」とあるが、将来的なことを想定したマイナス要因にも麦輸入を記載すべき。</p> <p>外的要因-プラス要因において「海上貨物のコンテナ化」とあるが、コンテナターミナルのない坂出港において、なぜプラス要因となるのか。</p>	<p>P131 の外的要因-マイナス要因において「企業の機能縮小・移転及び関連企業への影響」と記載しており、ご意見の内容は、この項目に含まれているものと考えます。</p> <p>坂出港において、令和3年8月からコンテナ貨物も運搬する定期 RORO 船が運航していることから、プラス要因としています。</p>
<p>坂出港西ふ頭地区西岸壁に 2014 年に耐震強化岸壁が整備された後に、背後地の企業が対岸の水島港に移転集約しており、戦略性のない港湾整備であったことが明らかになった。また 港湾整備の遅れから、日清製粉(株)も水島港へ移転することになっている。</p> <p>これらを糧にするためにも、「坂出ニューポートプラン」を戦略性のある具体的な港湾整備計画を打ち出し、早期に実現させてほしい。</p>	<p>長期構想(案)は「坂出ニューポートプラン」も関連計画として位置付け、その方針を踏まえたものとなっており、その実現に努めてまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>香川の港湾の今後の在り方を考える時、瀬戸内海の原因風景からの視点も大切ではないか。</p> <p>瀬戸内海は、穏やかな海、静かに浮かぶ島々、白い砂浜、海に浮かぶ漁船、山腹のだんだん風景など瀬戸内海は歴史と文化の多様性において風景の宝庫である。</p> <p>今では失われているが“船渡御”坂出八幡宮と漁師たちと醸し出すにぎわいも再度海と港の活性化としてぜひ、中長期的に取り入れていただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、瀬戸内海は美しい自然の中で培われてきた文化や歴史とが融合する地域であり、このことは、海外においても高く評価されており、瀬戸内の自然と文化に触れる交流の「みなと」づくりを目指したいと考えております。(P139)</p> <p>“船渡御”の復活については、関係部署へ伝えます。</p>
<p>坂出市の人口は、昭和 50 年代の約 7 万人をピークに減り続け、現在は 5 万人を割りそうなほど減り続けている。坂出市の未来のために「生活者目線」とりわけ若年層が街に誇りを持ち、街に愛着を持てる、まちづくりが必要なのだと思います。そのために、坂出が持っている地政学的な視点や過去の歴史などの資産を掘り起こして、固有の価値を伸ばし、新たな坂出ヴィジョンとして見つめ直すことが大切だと思う。</p> <p>坂出の持っている資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神社や史跡が点在しており、魅力のある「海辺の街」になる可能性がある。 ・ 塩作りから工業製品の生産へと変化してきた歴史のある「ものづくりの街」である。 ・ 坂出駅周辺にコンパクトに教育機関がまとまっており、若年層の育成をしやすい「教育の街」としてのイメージ ・ 香川と本州を結ぶ瀬戸大橋や、香川を鉄道で横断する JR 予讃線などがあり、優れた「中継地の街」としてのポテンシャル <p>上記の資産を組み合わせ、親水公園の整備、古倉庫のリノベーション、ものづくりを楽しく学ぶまち、といった施策が考えられる。</p> <p>港としては、築港町のマリーナを MaaS 利用の港やレジャー用のヨットなどが停泊出来るように整備してはどうか。坂出港は程良い入り江となっている安全な港で、小型船舶を係留し易い理想的な港となる可能性が高い。</p>	<p>ご意見のとおり、西運河地区周辺は賑わい空間としてのポテンシャルのある地域と考えます。関係部署とも連携し、より良いまちづくりを推進してまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>小型船舶にとって、安心して船を係留できる港が必要である。良港となる条件は、どの方向からの強風も遮る地形などいくつかの条件があり、瀬戸内海の四国側でこれらを満たし、天然の良港と言えるのは坂出港だけである。また、坂出港は瀬戸内海の四国側では唯一台風の避難場所になる。</p>	<p>ご意見のとおり、坂出港は港内静穏度が高いなど、安心して船を係留できる天然の良港であると考えます。恵まれた環境を活かせるように、計画的な港の整備に努めてまいります。</p>
<p>両港・県全体に関すること</p>	
<p>高松港・坂出港は、カーボンニュートラルポートのモデル港に選定されたが、具体的に取り組む方針は決定しているのか。 (同様ご意見他1件)</p>	<p>令和3年12月24日に、国土交通省からカーボンニュートラルポート(CNP)形成計画策定マニュアルが公表されたところであり、高松港・坂出港として、具体的な取り組み方針は決定していませんが、令和4年度以降にCNP形成計画を策定することとしております。</p>
<p>国は国際コンテナ戦略港湾のコンテナ取扱量を上げようとしているので、高松港で取り扱っているコンテナさえも集約される可能性がある。このような動きを注視しつつ、戦略性のある港湾政策を坂出港と連携し講じること。</p>	<p>国の施策を注視し、高松港と坂出港の利益が損なわれないよう努めてまいります。</p>
<p>大規模な整備改革には、港湾管理者だけの財政確保は困難が生じるので、国政議員、港湾事業者、港湾管理者等での委員会を設置し、国からの補助を有効活用した、脱炭素化、グローバル化した港づくりを要望する。</p>	<p>ご意見のとおり、港湾管理者だけの財源確保は困難であるため、国の補助事業を積極的に活用してまいります。</p>
<p>【8. 高松港・坂出港長期構想の実現に向けて P149】 本文7～11行目に記載されている両港の連携について、長期構想を実現させるために、双方港湾管理者が集まり協議する正式な場を創設すべき。</p>	<p>現状においても、異なる港湾管理者が1つの事務局になり得たように、県と市との間で連携が図れており、今後、港湾計画の改訂に向けても協議しながら進めてまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>財政状況の厳しいことは、各項目に記載されているが、大胆な港湾構想が提起されていない。長期構想計画については、将来それぞれの港に携わりたいと思える、もっと夢のある魅力的な港湾構想を描いてほしい。</p>	<p>両港の財政状況は、人口が減少し、右肩上がりの経済成長が見込めない中、既存施設の維持管理などの経費もあることから、今後も厳しい状況にあると考えています。</p> <p>長期構想(案)には、ハード対策だけでなく、両港の棲み分けや民間活力の導入、ソフト対策など、様々な取組みを構想に盛り込んでおり、それらを実現していくことで、両港が抱える課題に対応してまいります。</p>
<p>長期構想は、全国の港湾管理者が策定しており、ありきたりな構想を提起していると、新たな港湾整備予算の獲得は厳しいと思われる。もっと香川県の文化や特異性を活かした具体的な港湾政策や構想を打ち出すべき。</p>	<p>ご意見のとおり、瀬戸内海は美しい自然の中で培われてきた文化や歴史とが融合する地域であり、このことは、海外においても高く評価されており、瀬戸内の自然と文化に触れる交流の「みなと」づくりを目指したいと考えております。(P114, P139)</p>
<p>高松港と坂出港は、両港とも2010年に重点港湾に選定されているが、活かされていない。</p>	<p>ご意見のとおり、両港は、国土交通省が2010年に直轄港湾整備事業の選択と集中を図る重点港湾に選定されています。国に対し、今後も継続して必要予算の確保を要望してまいります。</p>
その他	
<p>港は、これまで生活者の立場では縁のないところだった。ハード・ソフト両面での対策を考慮していることは伺えるが、生活者目線としての女性の視点、発想も取り入れてほしい。</p> <p>将来、坂出の発展のためには、港湾の活性化のみでは街は発展しない。</p> <p>駅、港、商店街、学校を繋ぐために、昼夜人口の極端な差を失くし、子育て中の母親、学生、商店主、ビジネスマンなど多様な人たちでにぎわう新しい発想の構築を行政と民間の知恵を生かしながら進めていく「場」を設けてはどうか。</p>	<p>高松港・坂出港長期構想検討委員会においては、女性委員にも参画いただき、長期構想(案)の取りまとめに当たっていますが、今後は、より多くの女性委員に参画いただき、女性視点での意見の反映に努めてまいります。</p> <p>「場」については、長期構想の実現に向けた取組みを推進していく中で、必要に応じて検討してまいります。</p>

ご意見（要約）	ご意見に対する事務局の考え方
<p>「高松港・坂出港長期構想検討委員会」 「香川県地方港湾審議会」「坂出ニューポートプラン」「CNP 勉強会」のメンバーに港湾事業関係者や労働組合の代表者の参画を要望する。</p> <p>（同様ご意見他 3 件）</p>	<p>委員の選定については、要望としてお聞きしています。</p>
<p>【8. 高松港・坂出港長期構想の実現に向けて P149】</p> <p>「関係者と連携して、効果的・効率的に施策を展開していきます」とあるが、関係者とは誰を指しており、どのような機関が、どのような会議を行うのか。</p>	<p>関係者とは、事業が円滑に運ぶために調整が必要な方々を考えています。調整方法は実施する事業によって異なり、その都度、最適と思える方法を選択してまいります。</p>